

(平成30年度)
学校自己評価書

園番号	園名
716	奈良市立東登美ヶ丘こども園

716奈良市立東登美ヶ丘こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育活動に関するもの	(1) 教育目標・教育計画	① 教育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が、共通理解する教育目標・教育課程・計画の設定 ・保護者アンケートから教育活動を検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市こども園カリキュラムを基にして、3.4.5歳児の教育、保育を行い一人一人の良さを伸ばす園づくりに取り組んだ。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が協力し、教育と保育に取り組んだ。園内公開保育を実施し、環境構成や援助、日々の保育を振り返り研修を深めることができた。 ・保護者からのアンケートより、肯定的な評価をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3-5歳児の園児が生活する中で、発達段階に応じた教育・保育を工夫し継続していく。 ・教育要領からの10の姿に即した教育課程を再度見直し作成していく。
		② 教育計画の作成					
		③ 教育課程の編成					
		④ 教育活動の評価					
	(2) 教育内容・保育指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・実態と目標を視野に入れた計画立案をする。 ・保育内容全般について各学年及び学年相互で話し合い、環境構成、援助、教材の工夫などに取り組む ・一人一人に応じた指導に努め、指導計画に取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの実態と学級経営を基に指導する。 ・園内研究会や研修を通して、保育や援助の工夫と記録から見えてくる課題に全員で取り組み、互いに学び合う成果があった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に応じた指導に努め、指導計画に取り組んでいる。 ・発達段階に応じた姿を実践と振り返りで幼児理解ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの時間を確保し、保育者の指導力の向上に向けての研鑽を重ねる。
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
		④ 評価					
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修・会議を通して立案精選を十分に検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の育ちにつながるよう、行事を見直すことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・家庭・地域の理解のもと、連携することができ、園児の育ちにつながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって、何が必要でどの経験や体験がどのような育ちや学びにつながるのかを熟慮しながら構築していく必要がある。
		② 行事内容の精選					
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も友達も大切に、仲間と楽しく遊ぶ園児集団をつくる。その場その場で、一人一人の思いに寄り添い丁寧な指導を積み重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換し合い、園児理解に努めるとともに、一時預かり保育利用において異年齢の中で相手を思いやる気持ちやいたわる気持ちが育つ環境に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の様子を職員間で話し合うことで一人の捉えではなく、多様な捉え方で考えることができ実践につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児同士の人権意識を高められるように保育内容や教材研究の工夫をする。
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の家庭背景を十分に理解する。 ・連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の園児の心の内面を理解するために、職員間で十分話し合い、かかわり方や援助について共通理解することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で全園児のことを把握し、対応できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、全職員が一貫性のある統一した指導をすることが大切である。 ・関係諸機関との連携をとることの重要性を認識しておく。
		② 教育相談・幼児理解					
		③ 家庭との連携					
		④ 関係諸機関との連携					
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	・対処方針や指導計画が明確である	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任、預かり保育担当者、未就園児保育担当者、特別支援教育支援員が連携を取り、園児の様子を毎日共有した。 ・気になる園児の記録を取り、状況を園全体の問題として対応できるようにした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中でのトラブル処理について、担任・保護者・園との連携を密にし、安心して通える園であった。 ・気になる園児を全職員で共有し、一人で抱え込まず、話し合える雰囲気づくりや気軽に話し合う時間をもった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一層の信頼関係を構築するために、一人一人の園児を見つめ、連絡を丁寧に密にしていかなければならない。
			・日頃より実態把握・早期発見に努めている				
			・各学級の状況を園組織として共有できている				
			・保護者や地域と連携できている				
	(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な園児や発達障害を持つ園児の実情や支援方法について共通理解をする。 ・当該園児に対する支援プログラムを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談課、子ども発達センターの専門の先生による指導を受け、保育や援助の仕方について共通理解と体制作りをした。 ・専門機関と連携を取り、園児の観察保育指導、園巡回相談、保護者面談を随時行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の課題について職員が共有することで、支援方法が統一できた。 ・保護者との連携を密に行い、園児の育ちに繋がる様に務めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する園児が多くなっていくことへの支援員の増員や教育時間での支援時間の確保を望む。 ・すべての園児にきめ細かな指導ができるよう、努力を続けていきたい。
		② 個々に応じた特別支援教育の内容					
③ 指導方法の工夫改善							
④ 家庭との連携							
⑤ 関係機関との連携							

(平成30年度)
学校自己評価書

園番号	園名
716	奈良市立東登美ヶ丘こども園

716奈良市立東登美ヶ丘こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に基づく園経営について考えを話し、リーダーシップを発揮する。 ・職員が相互に理解し協力し何でも話し合える雰囲気を作り、情報交換・課題検討の場にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に基本目標を明らかにし、取り組みの重点を伝え共通理解が図れた。 ・職員の経験年数は様々で、私立経験者や保育所経験者もあり、それぞれが経験してきたことを保育現場や会議等で出し合いお互いの能力を高めあえた。 ・園児を教育・保育していく上でクラスの内容や預かり保育の内容がお互いに分かり合えるようにお互いの時間に手伝いに入るようにした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園長のリーダーシップと全職員でビジョンを共有し取り組めた。 ・クラス担任と預かり保育担当者、特別支援教育支援員、未就園児保育担当者が連携し、それぞれの立場から園児を見取り、共有でき園児の育ちに繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園経営への一人一人の参画意識を高めて行く雰囲気作りに努める。 ・各自がワークライフバランスが取れるよう、業務の見通しや工夫を行う。
		② 園経営目標・方針			B		
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識			B		
		④ 園務分掌等の連携			B		
		⑤ 会議の運営と位置づけ			B		
		⑥ 会議の結果			A		
		⑦ 職場の人間関係			A		
		⑧ 園評価の実施			A		
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研究や各種研修を行い、教育の資質向上を目指す。 ・園外研修に参加し、学んだことを伝え合い本園の実際の場で生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用教員研修を年10回、園内公開保育、園内研修を行い全職員の研修・学びの場となった。 ・保育スキルアップのため各種研修会に参加した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の研修会に参加、報告し合い、各自のものとして実践に生かされた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が、研修に参加しやすい体制を作っていく。
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施			A		
		③ 園外の研修への積極的参加			B		
		④ 園外研修内容の報告や伝達			A		
		⑤ 研修成果の普及			B		
	(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・危険に際しては迅速かつ適切な対応ができるようにマニュアルを作成し、緊急時の連絡体制はできている。 ・園児を事故、災害、不審者から守り、生命と健康を保持する月1回の避難訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節性の病気や健康について、たよりなどを作成しその予防の指導をする。アレルギー対応についても注意をする。 ・年間計画を基に様々な訓練を実施した。学期に1回は、子ども安全の日に合わせて徒歩での一斉降園を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した避難訓練は、園児たちの体験活動を通して身につけて来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、保護者と連携しているいろいろなシチュエーションを想定して訓練を行う。 ・危機管理意識を常に職員全員が持つようにする。
		② 防災計画の立案			A		
		③ 危機管理体制の整備			A		
		④ 安全指導の工夫改善			A		
		⑤ 家庭との連携			B		
		⑥ 関係機関との連携			B		
	(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・健康安全な生活に必要な生活習慣や態度の育成のための指導と家庭との連携 ・アレルギー対応における職員研修並びに認識 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の大切さや食育等、園児の生活に大きく影響していることを懇談会等で啓発した。 ・保護者、アイコメディカル、こども園推進課等と連絡を取り合い衛生管理やアレルギー対応の共有に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間を通して毎日の生活リズム、挨拶や手伝いなどの家庭教育の大切さを啓発してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の育ちや姿をHP等で具体的に発信する。
		② 心のケアや健康相談の体制の整備			B		
③ 健康観察、健康管理能力の育成		B					
④ 関係機関との連携		A					
⑤ 昼食の衛生管理		A					
(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の会合や催しに積極的に参加、園だより、クラスだより、ホームページなどで、園情報を発信し理解に繋げていく。 ・取り組みを受け止め評価を仰ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域の会合に参加し、園発信を行い啓発した。 ・こども園としての初年度であったので、いろいろな部分で(PTA活動も含)スリム化と活性化に努めた。 ・年間計画作成と活動の振り返りを行い、次年度に繋げるようにした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園としての内容を理解して頂くよう情報発信をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPを更新していく。 ・子育て支援センターとして地域と共に連携を深める。 	
	② 園(保育)公開			B			
	③ 小学校との接続・連携			B			
	④ こ幼保との連携			B			
	⑤ PTAの活性化			A			
	⑥ 地域教育協議会との連携			A			
	⑦ 学校関係者評価の実施			A			
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園目標、研究主題に添った環境整備 ・園内における安全管理の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭が有効活用できるように見直し、環境整備を再構成した。 ・安全点検を行い危険個所の改善に努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な安全点検で危険個所の改善が出来、安全に園児が遊べた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全でかつ、豊かな体験が出来る環境作りに心がける。 	
	② 施設設備の有効利用			B			
	③ 施設設備の管理			A			
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓、公文書等の保管について共通理解をする。 ・個人情報の管理についての研修に参加、職員の意識向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公文書を整理し綴じている。 ・電子媒体の管理や、配布物の内容について十分吟味した。 ・個人情報についての研修に参加し、管理保護に努めた。 ・保管は鍵のかかる所で、管理の徹底を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵かけは、職員一人一人が声確認を行い、習慣化している。 ・個人情報についての管理及び意識向上は出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な収納・保管場所の習慣・徹底を意識と責任を持って取り組む。 	
	② 公文書の作成			A			
	③ 個人情報の管理・保護			A			
	④ 情報の収集			B			